



こどもの病気と 特別支援

Education for All



病気を忘れる元気な子、
エピペン預けてかよう子、
みんな集まれ学校に



東道伸二郎

TODO Shinjiro

京都ノートルダム女子大学
現代人間学部
こども教育学科 特任教授



2018年 6月9日(土)
14:30~16:00 <14:00開場>

〔予約不要・入場無料〕

京都ノートルダム女子大学
ユージニア館 NDホール

〒606-0847 京都府京都市左京区下鴨南野々神町1



Kyoto Notre Dame University

こどもの病気と特別支援

～病気を忘れる元気な子、エピペン預けてかよう子、みんな集まれ学校に～



6月9日(土) 14:30～16:00



東道伸二郎

TODO Shinjiro

京都ノートルダム女子大学
現代人間学部 子ども教育学科
特任教授

特別支援教育はspecial needs education, special support education, exceptional student educationなどと表現されるが、わが国では明治11年(1878年)に設立された京都盲啞院もうあいんが特別支援学校の始まりとされる。その後特別支援学校、特別支援学級、通常学級での特別支援と教育の幅が広がってきた。1994年にUNESCOでの国際会議で、「Education for All(万人のための教育)」がうたわれ、可能な限りすべての子どもの能力や困りごとに対応した教育を行っていく方向性が打ち出された。これはインクルーシブ教育そのもので、その広まりが教育に対する考え方を変えつつある。

インクルーシブ教育とは子どもたち一人ひとりが多様であることを前提に、しょうがい障害の有無にかかわらずなく、誰もが望めば自分に合った配慮を受けながら、地域の通常学級で学べることを目指す教育理念と実践プロセスのことをいう。つまり、「一人ひとり丁寧に」と「みんなで一緒に学ぶ」の両方の実現を目指す教育理念である。障害の有無によって学ぶ場所が分けられるのではなく、子ども一人ひとりの能力や困りごとが考慮され、障害者スポーツ教育を含め「包括的な」、「包み込まれた」、すべての子どものためのinclusiveな教育を目標とする。この教育の実現が既に国際的な流れになっている。

講演では、病気の子供の日常と中心となる症状を解説し、障害者スポーツ、パラリンピックを含め、インクルーシブ教育や特別支援上、配慮を要する子供の病気について解説する。

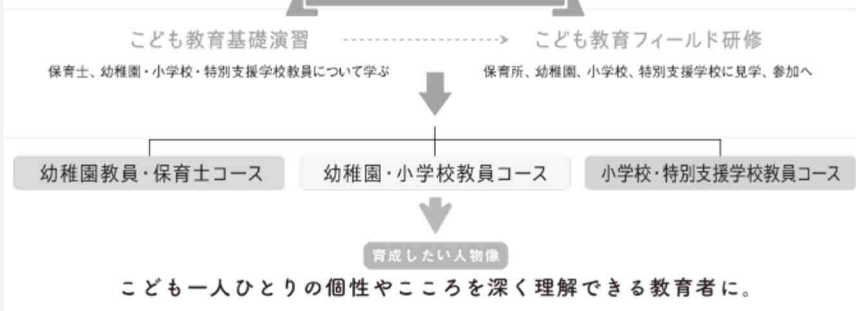
PROFILE

小児科医。京都府立医科大学大学院修了(医学博士)。京都府立舞鶴こども療育センター小児科医長、山科愛生会病院小児科部長、京都府立医科大学小児科学内講師を経て1989年より京都府立医科大学小児科学教室客員講師(血液外来担当)、東道医院開設、現在に至る。2017年4月より京都ノートルダム女子大学現代人間学部子ども教育学科特任教授。現在、京都市学校医会理事、京都市学校保健会理事、日本ランゲルハンス組織球症研究グループ(JAPAN LCH STUDY GROUP: JLSG)理事、京都小児科医会理事、京都少年鑑別所視察委員会委員等を歴任中。

現代人間学部 子ども教育学科

- 幼稚園教員・保育士コース
- 幼稚園・小学校教員コース
- 小学校・特別支援学校教員コース

入学してからコース決定



取得可能な免許・資格

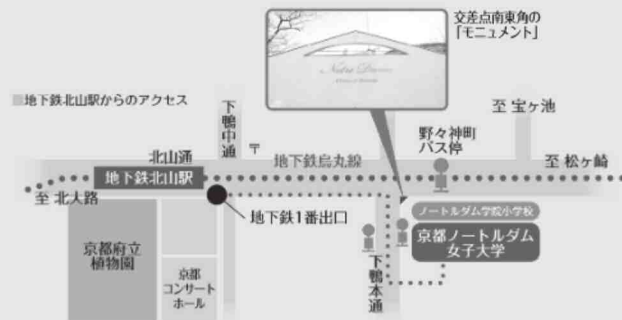
- ・保育士資格
- ・幼稚園教諭一種免許状
- ・小学校教諭一種免許状
- ・特別支援学校教諭一種免許状
- ・図書館司書資格
- ・学校図書館司書教諭資格

- ・児童指導員任用資格
- ・情報処理士資格
- ・社会福祉主事任用資格
- ・児童福祉司任用資格
- ・日本語教員資格

※詳細はHPをご覧ください

将来めざせる進路

- ・保育士
- ・幼稚園教員
- ・認定こども園保育教諭
- ・小学校教員
- ・児童福祉施設職員
- ・公務員 など



交通ACCESS ●京都市営地下鉄丸線「北山駅」①番出口より徒歩7分(北山通を東へ→下鴨本通を小学校・大学に沿って南へ→1つ目の角を東へ)
●市バス4号系統「野々神町」下車すぐ。もしくは、「北園町」下車 北へ徒歩5分

問合せ先/ 京都ノートルダム女子大学 研究・情報推進課
TEL.075-706-3789 FAX.075-706-3793
E-mail:kenkyu@notredame.ac.jp